

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		主担当課:下水道施設課 担当課:上下水道総務課、お客さまサービス課、水道工事課、下水道工事課、浄水課、北部上下水道課、天竜上下水道課
	03	06	01	03	01	

政策
上下水道における環境負荷の低減

政策の内容

下水道への接続などにより汚水の衛生的な処理を推進します。
省エネ・再エネ設備の整備や効率的な施設の運転管理により、上下水道施設から排出される温室効果ガスを削減します。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
-	-						

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

・人口減少などにより料金収入等が減少する中、上下水道施設の老朽化が進み、今後の事業量も増加する見込み。加えて、資材価格や労務費が上昇しており、さらなる経営効率化や計画的な財政運営が必要になっている。
・自然災害の頻発化と激甚化が進んでおり、特に令和6年能登半島地震では上下水道施設に甚大な被害が生じた。この経験から、浄水場、浄化センター等の上下水道システムの急所施設や避難所等の重要施設に接続する上下水道管路等の耐震化を推進する必要がある。
・デジタル技術の進展は、施設の運営や維持管理、業務管理などの事業運営において大きな変革をもたらすことが期待されており、デジタルトランスフォーメーション(DX)を推進する必要がある。
・国目標の2050年のカーボンニュートラル・脱炭素社会の実現に向けて地球温暖化対策を推進する必要がある。
・今後10年間(2025～2034年度)で本市の上下水道事業が目指す方向や今後の取組などを示す上下水道一体の「浜松市上下水道基本計画」に基づき、取組を進めている。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	2,338,421				
決算					

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	33.0				
会計年度任用職員	6.1				
暫定再任用職員(31時間勤務)	6.3				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
汚水衛生処理の 推進	<汚水衛生処理の普及促進> ○下水道事業会計 1,654,846千円 【上下水道総務課】 46,091千円 合併処理浄化槽設置業務に要する人件費 ※浄化槽に係る事務に関することは市長の補助執行で対応 【お客さまサービス課】 2,682千円 公共下水道への接続促進に要する経費 【下水道工事課】 1,607,701千円 取付管設置工・管きょ築造工事(馬込処理区など20箇所)など 【北部上下水道課】 622千円 公共下水道への接続促進に要する経費	1,888,550
	○一般会計(衛生費) 196,633千円 【お客さまサービス課】 196,633千円 浄化槽維持管理事業、合併処理浄化槽普及啓発事業、浄化槽助成事業 <適正な放流水質の維持> ○下水道事業会計 34,821千円 【下水道施設課】 34,821千円 水質分析に要する経費、放流水消毒用薬品、事業場排水立入検査に要する経費	
温室効果ガスの 削減	○水道事業会計 33,325千円 【上下水道総務課】 17,050千円 住吉庁舎照明LED化工事 【お客さまサービス課】 398千円 館山寺庁舎待合室外LED化工事 【浄水課】 7,693千円 大原・常光浄水場管理棟LED化工事 【北部上下水道課】 4,455千円 施設照明器具LED化工事(上島配水場外) 【天竜上下水道課】 3,729千円 天竜区管内施設照明LED化工事	264,172
	○下水道事業会計 230,847千円 【下水道工事課】 144,000千円 中部浄化センター汚泥焼却設備改築工事 【下水道施設課】 86,847千円 施設照明のLED化工事	
浄水発生土・下 水汚泥の有効活 用	<浄水発生土の有効利用> ○水道事業会計 47,058千円 【浄水課】47,058千円 天日乾燥床関連業務委託、大原浄水場天日乾燥床増床詳細設計委託	185,699
	<下水汚泥の有効利用> ○下水道事業会計 138,641千円 【下水道施設課】 138,641千円 下水汚泥、焼却灰の処理に要する経費など	

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
下水道水洗化 (接続)率(%)	公共下水道に接続可能な区域内人口に対して、実際に接続している人口の割合 ※実績値は翌年度に確定することから、2024年度の実績値は2023年度の実績値である	現行の下水道事業計画区域内における下水道整備対象区域の整備を完了させることを目的とし、下水道普及の概成に向けて整備事業を推進するとともに、下水道への接続促進を活動指標として設定	目標値	-	97.2	97.3	97.4	97.5	97.6
			実績値	97.0 (2023 年度)					
			達成率	-					
合併処理浄化槽 基数(件)	市内全域の合併処理浄化槽の総基数 ※実績値は翌年度に確定することから、2024年度の実績値は2023年度の実績値である	単独処理浄化槽やくみ取便槽から合併処理浄化槽への設置替えの促進を活動指標として設定	目標値	-	28,900	29,500	30,100	30,700	31,200
			実績値	27,686 (2023 年度)					
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
汚水衛生処理率 (%)	行政人口に占める下水道、農業集落排水施設及び合併処理浄化槽で汚水処理している人口の割合 ※実績値は翌年度に確定することから、2024年度の実績値は2023年度の実績値である	汚水衛生処理の普及促進における総合的な短期成果指標として設定	目標値	-	89.8	90.2	90.5	90.8	91.0
			実績値	89.1 (2023 年度)					
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
汚水衛生処理率(%)		行政人口に占める下水道、農業集落排水施設及び合併処理浄化槽で汚水処理している人口の割合 ※実績値は翌年度に確定することから、2024年度の実績値は2023年度の実績値である。	実績値	89.1 (2023 年度)						92.0
			達成率	96.8%						

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

安全・安心な上下水道が地域社会の中で健全な水循環に貢献している。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
	評価時に記載	

「②活動(アウトプット)指標」の分析・評価と指標見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	
	評価時に記載

「③短期成果(アウトカム)指標」の分析・評価と指標見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	
----------	--

評価時に記載

2025年度の政策の評価と2027年度の方方向性(2026年度記載)

評価時に記載
